

豊後大野市の「みらい」を考えよう！

第3回 みらいデザイン会議 の内容



2025(令和7)年9月

index

目次

- 01 | 実施概要
- 02 | グループワーク概要
- 03 | 実施結果
- 04 | 参加者アンケート結果

01 | 実施概要

■ 実施概要

- 日時: 2025(令和7)年9月9日(火)19時~21時
- 会場: 豊後大野市役所2階 視聴覚室
- テーマ: 豊後大野市の将来像を市に提案する！

■ 参加者メンバー

- 市内在住者18名
- 豊後大野市役所職員12名



02 | グループワーク概要

発表

- 各グループからまちの将来像や盛り込んだキーワードに込めた思いを副市長に提案する



意見交換

- 各グループからの発表を受けて、副市長からコメントし、豊後大野市が目指すべき方向性について副市長と各グループの意見交換を実施する



振り返り

- 以下のテーマで全3回を通じた感想や思いを話し合い、全体に共有したい思いや感想を模造紙に貼り出します
 - ✓ みらいデザイン会議の良かったところ、楽しかったところ
 - ✓ まちの将来像に必ず盛り込んでほしいキーワード
 - ✓ まちの将来像を実現するために自分にできること



03 | 実施結果

Aグループ

豊かな自然と後世に伝えたい文化 大きな安心♪野菜が自慢！住みたくなるまち豊後大野



発表概要

- ✓ 豊後大野市の魅力として、豊かな自然、後世に伝えたい文化、大きな安心、野菜が自慢を盛り込み、これらの魅力を高めることにより、住みたいまちになっていくことを表現した。
- ✓ 移住・定住の促進を一番の目標として、市の魅力発信が一番の課題であり、住みたくなるまちと言えば豊後大野市となることを目指したい。
- 丁寧に大事なフレーズを将来像にしてもらった。具体的に何をしたら豊後大野市がよくなると考えるか。どうやったら若い人に残ってもらえるか。また、どんな魅力があれば、多くの人に来てもらえるか。
- 各種支援や手当によって子育て環境は充実しているため、よりPRに力を入れてほしい。防災では、建物が新設され充実しているため、災害時の避難所として使うなど、施設を活用してほしい。移住する際に田舎暮らしできる候補地はさまざまがあるが、活断層がなく安心して住めることや災害に対する備えがあることは、移住者や企業にとってのPRポイントになる。
- いまある強みを生かせるところは生かしてPRすることで移住者が増え、今住んでいる人も残ってくれると思う。情報発信をこれから行っていく必要があると感じた。



意見交換

03 | 実施結果

Bグループ

始まりの地 七つの町でつなぐ未来 ～自然と人がととのう町～

- ✓ 豊後大野市は大分県の始まりの地として歴史的意義や新しいビジネスを始める制度があることから始まりの地というキーワードを設定した。
- ✓ 豊かな自然や大地を表現するために「まち」ではなく「地」とした。
- ✓ 7つの町が線となり輪となるよう「七つの町で」とした。
- ✓ 町に関わる多様な主体が連携することや伝統文化をつないでいくことを目指して「つなぐ未来」とした。
- ✓ 「自然と人がととのう町」は自然や人などが調和し災害や人災が少ない町に未来につなげていくことを豊後大野市の代名詞であるサウナの用語を用いて表現した。



発表概要

- 将来像のタイトルやキーワードの意味がわかりやすく、まちを盛り上げる思いが伝わった。

(凡例)○:白井副市長

意見交換

03 | 実施結果

Cグループ

ブンゴオオノ×「」=シン・イナカ —あなたの「」でブンゴオオノがかわる—



発表概要

- ✓ メンバー全員のバックグラウンドは多様だが、豊後大野市を考えていることが共通していたため、それぞれがに気になっていることを入れ、方程式が成り立つように何ができるのかを考えることができたら面白いまちになると考えた。
- ✓ シン・イナカとは、通常のネガティブなイメージを一新し、新たな一流の田舎という思いを込めた造語であり、田舎が持つネガティブなイメージを払拭してポジティブな言葉として使いたかった。



意見交換

- 今までにない視点の提案であった。♡の何を当てはめるかが重要だと考えるが、これがあればいいと思うものはあるか。
- 二流三流の都会ではなく一流の田舎を目指して、ないことがよくないのではなく、ないことが素敵という発想の転換を実現したい。例えば、豊後大野市の星がきれいなところが多いなど、まだまだ取り組むことができる余白はまだまだあるため、可能性は無限大である。
- わくわくする発表だった。何かが生まれそうな期待が持てるタイトルであった。

(凡例)○:白井副市長、●:チームメンバー

03 | 実施結果

Dグループ



七色に輝け、豊後大野！



発表概要



意見交換

- ✓ まちの将来像をつくるにあたり大切にしたいキーワードは「虹」である。豊後大野市は7つの町村が合併して誕生したことから多様性や共生があふれたまちを象徴したい。
- ✓ 「七色」は多様性を象徴し、全ての人に活躍してほしいとの思いを込めた。「豊」はまちの豊かさを表現した。「後」は後世や未来につなぎたい思いを込めた。「大野」は9万年の大地の恵みを活かしておいしい野菜を育て日本の畑を目指したいとの思いを込めた。「虹」でまちの人とのつながりを表現し、「！」にはポジティブな思いを込めた。
- シンプルにまとまっていてわかりやすい。フレーズ分解によって将来像の意図がよく伝わった。「後世につなぐ」というフレーズの検討にあたりどのような議論が行われたかお聞かせいただきたい。
- 豊後大野市の問題は人口減少であるため、未来につないでいくフレーズを出すことがチームの共通認識としてあった。未来に向けたメッセージとして将来像に盛り込みたいキーワードを検討し、ポジティブな思いを将来へつなぐことを重視した。
- 産業分野で「産まれる」「産み出す」というキーワードは働く場所をつくることだと理解した。教育分野ではどのような支援があれば後世につなぐことができると考えるかご意見いただきたい。
- 転入者から豊後大野市はすべての町や村に学校があって充実していると聞いた。子どもの声がする地域を未来につないでいきたい。給食無償化などの子育て支援や特別支援の充実を情報発信するとよい。
- 豊後大野市は他の自治体が実現できていないことが実現できていると考える。豊後大野市のよいところをアピールする必要がある。

(凡例)○:白井副市長、●:チームメンバー

03 | 実施結果

Eグループ

過疎化に□□パンチ 幸福度日本一※



発表概要



意見交換

- ✓ 第2回で少子高齢化が豊後大野市の大好きな問題だと捉え、少子高齢化を解決するためにキャッチャーで盛り上がる言葉を検討した結果、将来像を「過疎化に□□パンチ！幸福度日本一！」とした。
 - ✓ 少子高齢化の現状を悲観的にとらえず、地域住民全体で積極的に打破できる未来を生み出したい。
 - ✓ 幸福度世界一のフィンランドに習い、まちに住む人が幸福度日本一と思える社会システムを創造したいという思いを込めた。
-
- パンチがあるタイトルで幸福度日本一を目指す思いを理解した。少子高齢化に歯止めをかける策について議論した内容をお聞かせいただきたい。
 - 暮らしを支える様々な支援が整備されているが市外の方に知られておらず、広く伝えてほしい。
 - 豊後大野市含め大分県はPR下手であり、観光分野を含めアピールできることが多々あるため、みらい戦略プランを策定するにあたり情報発信は大事なキーワードだと考える。豊後大野市に何があれば、幸福度日本一を目指せるかご意見いただきたい。
 - 仕事や娯楽、人間関係が充実しQOLが高まる必要がある。
 - 行政と市民が協働してどのようなことに取り組むと幸福度が上がるのか考えたい。まちの将来像を表すキーワードにある「面」の意味を確認したい。
 - スタートアップ先進地として創業支援や事業承継などチャレンジする人を面で支援していきたいとの思いを込めてキーワードを設定した。

(凡例)○:白井副市長、●:チームメンバー

※ 諸事情により、一部の表現を伏せています。8

03 | 実施結果

Fグループ

豊かさを自慢できる町 ぶんごおおの



発表概要



意見交換

- ✓ 一目見ただけで分かりやすい将来像にすることを重視した。
 - ✓ 豊かさは3つの要素で構成されている。1つ目は人の温かさ、2つ目は住みやすさ、3つ目は自然が豊かで充実していることである
 - ✓ 自慢できる町は、これらの豊かさがある中で自分たちや将来の子どもたちが自慢できるまちにしたいという思いを込めている。住民一人一人が自慢することが豊後大野市の豊かさを伝えるカギになる。
 - ✓ ぶんごおおのは、どこの町の将来像であるかが分かるように市名をいれた。親しみやすさとやわらかさを込めて平仮名表記にした。
-
- 非常にシンプルで分かりやすい発表だった。とにかく豊かさを自慢できるだけを表現しており、分かりやすく響いた。豊後大野市は住みやすく住み続けたいと考えているか。
 - 町としてちょうどよく、包容力があり、非常に暮らしやすいと感じている。
 - 地域の温かさを肌身で感じていることが将来像につながっている。豊後大野市の豊かさが自慢できるものとして前面に出していくことは重要である。自慢できる町として市民が心から自慢することが大事だと改めて感じた。

(凡例)○:白井副市長、●:チームメンバー

03 | 実施結果

振り返り

みらいデザイン会議の良かったところ、楽しかったところ

- ・ 雰囲気良かった
- ・ 高校生の意見聞けた
- ・ 他の人の色々な考えが聞けて楽しかった
- ・ 高校生という若い世代が来てくれてうれしかった
- ・ より深く豊後大野市の事を考えることができた
- ・ プレゼン勉強になった
- ・ 色んな年代の方の意見を聞き、考えを知れて良かった
- ・ 各チームの個性が出ていておもしろかった
- ・ 新たなアイデアや考え方を学んだ
- ・ ♪
- ・ 職員の方と交流できた！話ができる楽しかった
- ・ 高倉さんケーブルTVに出てほしい
- ・ 感謝
- ・ 愛着が増した
- ・ みんなやさしかった
- ・ 色んな立場で皆がんばってるのが分かった
- ・ 官民連携感
- ・ 面白い人が多かった！
- ・ メンバー！！！
- ・ メンバー 龍さん♥ カワイさん♥
- ・ モチベーション向上
- ・ 良いシゲキ
- ・ 感謝
- ・ 次の豊後大野
- ・ を考えることができた
- ・ 司会の石堂さん♥
- ・ たくさんの野望を聴けた
- ・ 様々な意見
- ・ 同じ意見でも表現が違っていておもしろかった
- ・ いろんな立場の人と話す機会があって楽しいので、もっとやってほしい
- ・ 色んな方と話すことができるいい機会となった
- ・ 前向きに同じ方を向いて
- ・ メンバーとの話し合い！
- ・ 個性豊か
- ・ 普段話すことのない方と意見交換出来て新しい発見がありよかったです
- ・ 世代交流になった
- ・ ざっくばらん感
- ・ 色んな人がいる
- ・ いろんな考えを知れた
- ・ まちづくりに参加できた！

03 | 実施結果

振り返り

まちの将来像に必ず盛り込んでほしいキーワード

- | | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ ワンオクロックも来ようとした町△・ 幸福度♡・ チ。(地、知)・ 自慢・ 幸福度・ ととのう・ ♡・ 未来・ 繋ぐ・ 虹・ 日本一・ チルさ・ 虹・ 教育の強さ・ ととのう・ 日本一・ 虹・ 日本一・ 繼なぐ(つなぐ) | <ul style="list-style-type: none">・ つなぐ・ 安心・ 七色・ 一流の田舎・ 芸術・ 幸福度・ ととのう・ 7・ 七色・ 虹・ 自然・ ととのう・ 繙承のマチ・ つなぐ・ 輝け！・ 一流の田舎・ 一流の田舎・ 幸福度 | <ul style="list-style-type: none">・ 誇りある田舎・ rainbow 虹・ ダンジョンまち・ 豊かさ・ 自然・ シン・ シンイナカ・ 豊かな自然を感じるために景観を楽しむ・ 大きな安心・ 伝える文化・ シンイナカ・ ワンオク×サウナ・ つなぐ・ 安心・ 自慢できる・ 住みたくなるまち！ |
|---|--|---|

03 | 実施結果

振り返り

まちの将来像を実現するために自分にできること

- SNSの活用 シン・イナカぐらし
- 協力、協動、協働
- 断固たる決意
- 豊後大野市を自慢する
- 子どもと豊後大野のこと積極的にはなしをする
- 良さを発信する
- 学生という立場で他市にアピールする
- 否定しない
- みんなが安心するまちづくり 声かけ
- 地元の食材を積極的に食べる
- 安心
- 伝えること
- 地域の仕事に参加
- "ある"と"ない"を楽しむ
- 郷土愛を深めたい
- 友だちや親戚をいろんなところに案内する
- 業務
- 旗■ふりまっせ～
- 広告
- 例えば、「発信」についての2泊3日の合宿
- 視察 連れて行って！
- 手当たり次第にPR
- 卑下しない
- アトツギ支援
- PR
- 豊後大野の魅力を自分からSNSに積極的に発信する
- 子育て
- ジオ学習
- 楽しく生活する
- 色んな人と話す
- 色んな人に話す
- 熱意をもつ
- ぶんごおおのよさを知る
- 有害獣駆除します
- もっと知る
- コツコツやる
- 魅力を外にも内にも伝え続ける
- ぶんごおおのよさを布教
- 発信
- イベント・行事に参加する
- PRの弱さ
- コラボ
- 七色
- ドラクエウォークコラボして観光人数を増やそう
- 元気に明るく暮らす

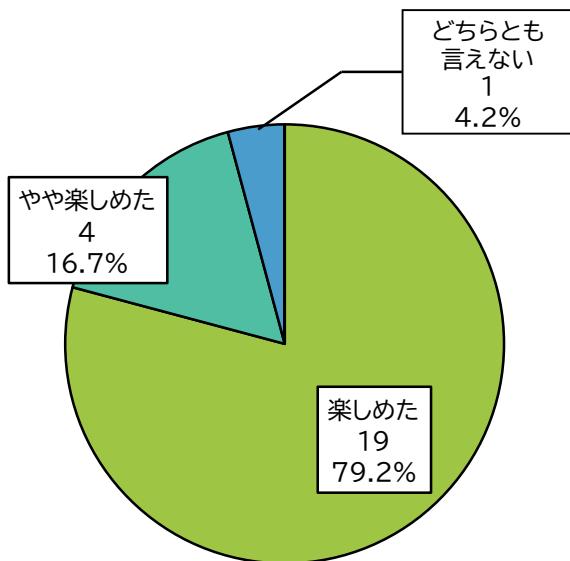
04 | 参加者アンケート結果

1.本日参加された感想をお聞かせください。

※割合は、小数点第2位を四捨五入しているため100%と一致しない場合があります

(1)みらいデザイン会議(全3回)はお楽し
みいただけましたか？

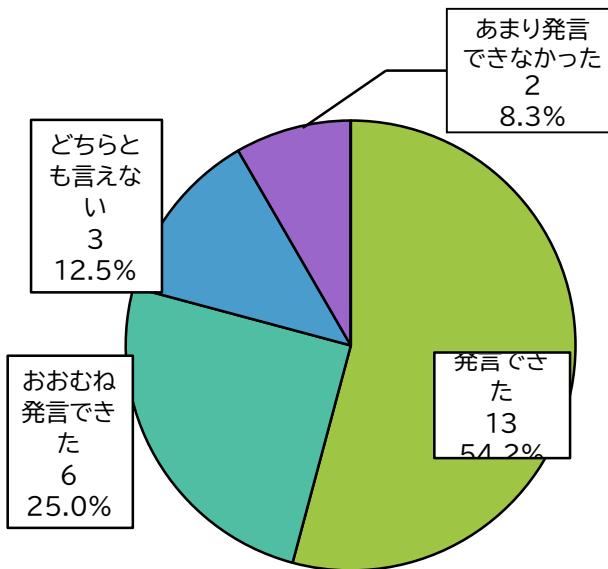
➤ みらいデザイン会議(全3回)を通じて、9
割弱の参加者が「楽しめた」「やや楽しめ
た」と回答しています



n=24

(2)みらいデザイン会議(全3回)では、ご自
分の意見を十分に発言できましたか？

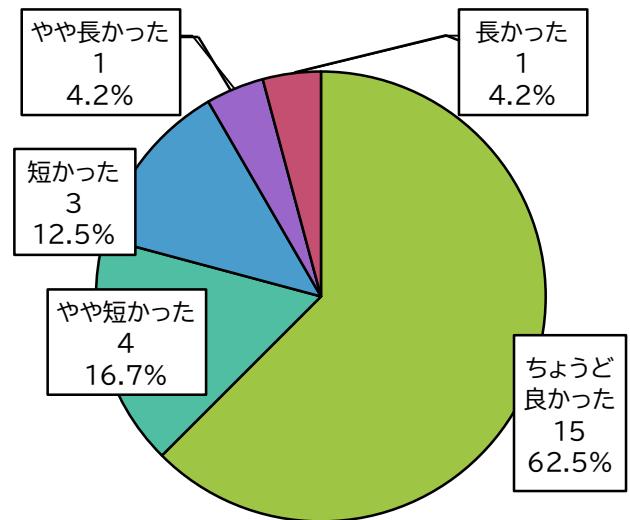
➤ みらいデザイン会議(全3回)を通じて、8
割程度の参加者が「発言できた」「おおむ
ね発言できた」と回答しています



n=24

(3)みらいデザイン会議(全3回)での話し合
いの時間(長さ)は、いかがでしたか？

➤ みらいデザイン会議(全3回)を通じて、6
割程度の参加者が「ちょうど良かった」と
回答している一方で、3割弱の参加者が
「短かった」「やや短かった」と回答してい
ます



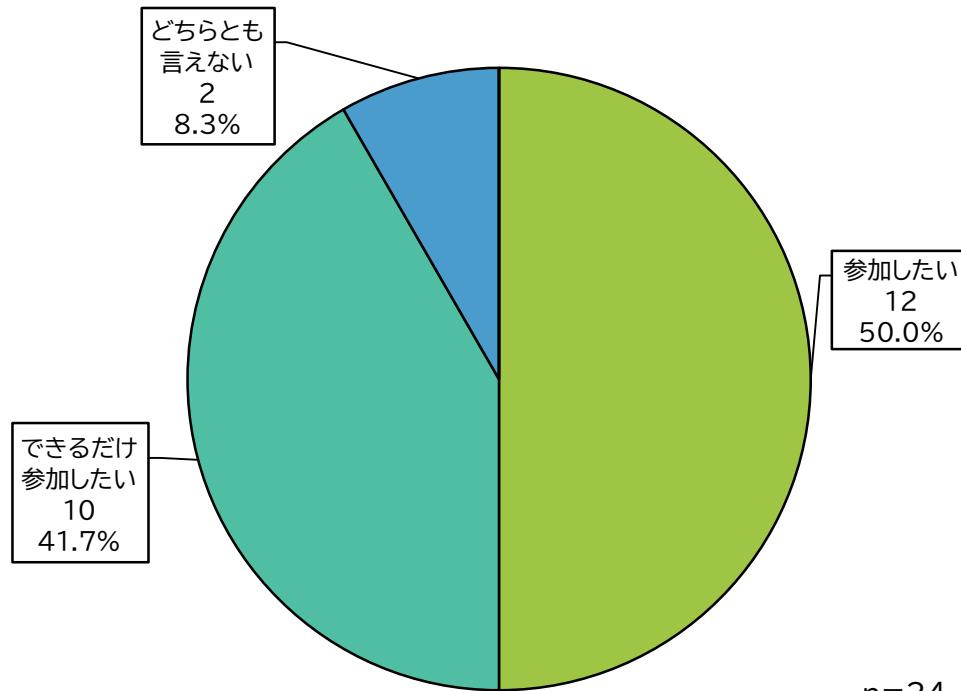
n=24

04 | 参加者アンケート結果

2.今回のみらいデザイン会議以外で、今回のように豊後大野市の施策や取組について話し合う機会があれば、また参加してみたいと思いますか。

※割合は、小数点第2位を四捨五入しているため100%と一致しない場合があります

- 9割程度の参加者が、今回のように豊後大野市の施策や取組について話し合う機会があれば、「参加したい」「できるだけ参加したい」と回答しており、引き続き、豊後大野市のまちづくりに関わりたいと考える方が多いという結果になっています



04 | 参加者アンケート結果

3.今回のみらいデザイン会議全体を通して、感想があればお書きください。 ↓ 参加した感想

■ 多様な意見を聞くことができた、様々な人と交流することができた(10件)

- ・ 全体を通して、多様なキーワードが出され、今後の8年間の計画策定にとって非常に参考になる内容だったと感じました。特に「継承」「チルさ・ユルさ」「一流の田舎」といった言葉には、それぞれの想い・若い人達の声・将来像がよく表れていたと思います。
- ・ 現役高校生の意見・意志を直接聞けたことも大変貴重で、その世代の感覚を実感できました。
- ・ 各分野で活躍する個性豊かな皆さんと、同じ方向を向いて、前向きに話し合いをする機会というのはなかなかないと思います(課題や不満、足りないところを話し合うことが多い?)。
- ・ 付き合いで参加することになり、前向きな参加ではなかった。また豊後大野市へ転居してきたが、元々転居に前向きではなかった背景もある。しかしざ参加させてもらうと色々な立場の人が一生懸命頑張っていることが分かり、とても良い刺激になった。
- ・ しかしざ参加させてもらうと色々な立場の人が一生懸命頑張っていることが分かり、とても良い刺激になつた。
- ・ 豊後大野に住むたくさんの方の色んな意見が聞けて面白かった！
- ・ 若い高校生が来てくれたのがとても嬉しかったです！
- ・ 2回目の講座に参加出来なかつたのが悔やまれますが、いろんな話ができるで楽しかつたです！
- ・ いろんな方と話す良い機会となりました。このような形で豊後大野さん全体の輪がひろがることで、豊後大野市の発展にもつながるのではないかと思います。
- ・ 職員、一般の方それぞれ市に対する想いや願いをたくさん話し合って、それぞれの見方を知れて良かった。

■ 学びになった、知らなったことを知ることができた(7件)

- ・ 全体として学びと気づきの多い会議であり、大変参考になりました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
- ・ 豊後大野市の良いところを再発見でき、豊後大野市に対して愛着が増した。前向きに楽しく生活していきたい。
- ・ 自分の今いる現状と周りが行なっていることのことが知れ、良いモチベーションアップとなりました！
- ・ 自分では思いつかないようなものも多く、学びにもなりました！
- ・ 良いところだと思ってしたことでも立場が変わると良くないと感じている人もいたことに驚いた。
- ・ 勉強になりました
- ・ 新たな発想や考え方を知ることができた

04 | 参加者アンケート結果

3.今回のみらいデザイン会議全体を通して、感想があればお書きください。 ↓ 参加した感想

■ 楽しかった、話しやすかった(4件)

- ・ 楽しかった。
- ・ 霧岡気がよくて意見を言いやすかった。
- ・ 全体通して、個人的にはとても楽しかったです。各関係の皆様ありがとうございました。
- ・ 楽しかったです

■ もっと話し合いたい(3件)

- ・ 今回のような前向きな協議の場は貴重だと思います。まだまだ引き続き、形を変えて、色々な話し合いをしたいと思いました。このような機会を作っていただけたらと思います。ありがとうございました。
- ・ 話す時間と他班の意見を聞く時間のバランスがちょうどよく、もっと話したい気持ちになりました。市民に参加する機会を提供してくださり有難かったです。
- ・ もっともっと話したいです！合宿しましょう！なんなら視察に行きましょう！できること全部やるんで連絡ください！あと、アトツギ甲子園の宣伝もよろしくお願ひ致します！

■ 豊後大野市の将来を考えることができた、これからも考えていきたい(3件)

- ・ 自分が未来の子供達へ何ができるのが、先人の方々が何をみてつないできたのかを今一度考えて豊後大野市で自分ができること、みんなと何ができるのがを楽しんで考えていきたいと思います！
- ・ みんなで連携して市を盛り上げていきたいと感じました。
- ・ 豊後大野市の事をより深く考えることができ、自分がこの豊後大野市をどんな町にしたいかを考えることができた。

■ 豊後大野市の将来を考えることができた、これからも考えていきたい(3件)

- ・ 一方で、より具体的な意見を引き出すためには、個人で考える課題を事前に設け、その後にグループで意見交換をするような形式も効果的ではないかと感じました。また、最後に「若い人」「女性」という国から指定されたテーマもあると伺いました。そうした背景を踏まえ、より実行性ある計画策定の為、対象となる若年層や女性の方々が自由に意見を出しやすい場を設けることも有効ではないかと思います。
- ・ 基本的に時間配分がちょうどよいと思いましたが、第3回については発表からいきなりだったので、前回話した言葉の意味や込めた思いを共有する時間がなく、本当はもっとあった発言を発表時に伝えられず読むだけになってしまったかなと思います。思い出して話し合う時間が欲しかったです。